

ています。県道三木穴粟線を西から来た来店車両はバスも含め本町交差点で右折してイオン敷地へ進入するとはできないことになっています。想定と異なる経路が使われることにより交通渋滞等の問題が引き起こされた場合は、誘導経路を徹底する等の対策が必要で、来店店車両が渋滞を逃れるため市街地内の狭隘な道路に迂回することによるトラブルが発生することがないように、市街地内の生活道路への進入を防止するための進入禁止看板設置等の対策が講じられるよう指導したいと思っております。今後とも来店店車両の誘導方策について継続して事業者と協議調整を行いたいと考えています。

病院経営について

吉田 稔 議員

問 市立加西病院のあり方検討委員会において答申が出された。方針がはっきりした以上、それに向かつて果敢に実行していくことが肝要である。①地方公営企業法の全部適用はいつごろ行つか。②医師確保の努力はどのようなにされたのか。③院内保育所の設置はどのように進めていくのか。

④医師の労働環境の改善はどのようになされているのか。⑤市からの繰入金金は十分なのか。

答

①全部適用は、病院としては12月議会に出すような形で考えていますが、市行政としては事業管理者にいい人材が確保できるかがポイントであり慎重に考える必要がある。改革プランが策定され、確実に遂行できる病院の経営体制ができない限り二氣に全部適用へ移行するのは難しいと考えています。②医師の確保については院長が機会あるごとに大学への訪問、会合への参加をされ、市を挙げての要望が必要な場合は市長も同行している状況です。議員、市民の子弟や関係先に医師がいらっしゃればご紹介いただきました。③院内保育所は本年度予算で設置の方向で検討していますが、設置後の手配や宣伝等、女医さんが増えていき、事業が成功するストーリーを描いて実行に移したいと思っています。④医師の労働環境改善については、本年度医療秘書を備え、研修の充実、診断書作成システムの導入、機器の充実等を図り環境を整備しています。また、コンビニ医療の解消やクレーム対応にも努めています。⑤繰入金金は

経営改革プランでは繰入金金の明確化が挙げられており、どの程度必要かといった数値の精査が必要と思っております。

市の職員が行政サービスの推進

山下光昭 議員

問 「行政は最大のサービス産業」市民が主役でお客様」とは

市長の言葉。市の窓口業務は市役所の顔とも言われており、国においても国民の立場に立った行政を実現するため「さわやか行政サービスの推進」が叫ばれている。職員の名札に、顔写真や所属部署と目標を入れて仕事と目標を示すのも市民に対する責任の意思表示のひとつ。インターネットの普及とともに、市のホームページのより充実が求められている。市政カレンダーや天気予報の導入はどうか。市役所に来られた市民をたらい回しにせず、一カ所で手続きを済ませられるワンストップサービスの取り組みや、昼間、市役所に来にくい会社勤めの方の要望の強い窓口業務の時間延長は、市民の目線にあった行政サービスの向上策と考えるが、市長の見解をお尋ねする。

答

ワンストップサービス、名札、ホームページの改定についても前向きに対応させるように指示する所存です。夜間、休日の窓口業務については、土日、祝日に議会を開催すること等も含めて、前向きに検討すべきと前々から認識しています。実際にニーズがあるか、効果があるかをやってみて、ニーズもないということであれば、再開の時期を探るということを考えて、まずやってみることが大事だと思っています。市役所が変わったと一番市民に喜んでもらえるのは、やはり窓口対応の改善だと思っています。市民に対して行政サービス、市民サービスを提供している窓口の職員が個々の市民と接触する際の応対や態度、要件やご要望に対して即座に対応できるか否かが、サービスの質の大きな部分を占めていると思えます。職員の※ホスピタリティーが向上し、公僕者としての意識改革に今後とも注力していきたいと考えています。

子育て支援事業について

三宅利弘 議員

問 少子化対策の二環である子育て支援事業について、安

心して子どもを産み育てられる環境づくりや、生活支援、経済支援等が大切と思う。保育ニーズが多様化しており、加西市でも早くから保育事業に取り組みされているが、保護者のニーズに十分対応しているのか。福井市では乳幼児健康支援、デイサービス事業という病児保育、病後児保育をされているが見解は。

答

児童の虐待について、加西市ではどのように未然防止を行っているのか。母子家庭の就労問題で行政はどいついた支援をされているのか。

さまざま保育が行われていますが、ほぼニーズに合っていると考えています。福井市の事例については加西市でいままでやり切れるとは思っていませんが、そういうことを考える自治体もあるということを受けとめました。

児童虐待については加西市では平成18年度から要保護児童対策相談員を置き、早期発見、未然防止も含めて動いています。

母子家庭に対する就労支援は、特段制度等はありませんが、職業安定所とも今後協議をしながら斡旋の方法等についても協議をし

※ホスピタリティー…親切なおもてなし又は歓待